

策戦に餘念ない

各軍を偵察

必至の鼎立戦

展開豫想さる

大會を明後日に控へた三校は夫々最後の猛練習に入り當日の策戦に怠りないが物凄く鼎立戦展開が必至の形勢にある各軍を偵察すれば先づ警中は縣下一を誇る大グラウンドを狭しとばかり薄暮まで猛練習を続け同チームの強打者下平氏は昨日の紅白戦に大ホームラン二本を受飛ばしたのを始め豊口、新谷、高清水、山本の諸氏が長打を競つて居る次ぎに平商は若松左腕投手の進境目覚ましく絶好のコ

審判員協會の

制服に身を固め

大會一段と精彩を加ふ
協會の四氏初出場

本社主催中等學校教員野球大會の試合に厳正を期し當日の審判員は近く發會式を擧げる平野野球審判協會に依頼することに決定し左記の四氏が當日の審判に當る事になつたが四氏共に協會を代表しては本大會が初出場の新調の審判制服に身を固めて同大會に一段と精彩を加へ試合を飾る筈である

石坂一雄 水竹伊之助
佐藤武人 佐藤信夫

夏井産業組長 既報

夏井村は本年新設した産業組合の初代組合長に同村大字大越字大乗坊木田森之助氏を推薦した

警中籠球遠征

籠球部は明十二日より二日間水戸高等學校で開催される同校主催近縣中學校籠球選手權大會出場のため大淵部長引卒の下に明十二日午前五時十五分發列車で出發するメンバー左の如し

(五年) 浦井勝美(四年) 鈴木源一 大坪章 松本一夫(三年) 小林正久 河野和平(二年) 齊藤益雄 植村力夫 薄葉行雄

注目さるし

選挙費用

肅正が如何に

反影したか?

今回の縣議戦に出場した八候補者の選挙費用は肅正が如何に反映したかを大いに注目されて居たが最近提出された各候補者の費用總額は

小野氏 一六四七
關内氏 一五〇、五
小沼氏 一四一、三
齊藤氏 一四〇、〇
蓮沼氏 一三五、四

柿は六割減

二割高を呼ぶ

年々聲價を昂めつゝある本年の柿も本年は非常な不作で調査の結果今年作の六割減見込みであるこれは昨今の天候不良が祟つて枝梢の發育を阻害され木が弱つてゐた爲め折角今春開花して結實しながら養分不足で落果しの上へ害虫が蔓延したため成に際で落ちた

醤油味噌

醸造の講習

石城郡醤油醸造組合並に味噌製造組合合同主催の醤油

及び味噌醸造講習會は来る十五日午前十時より午後五時迄マルトモホール樓上で催されるが講師は元大藏省と

大馬力で

六十餘ヶ所の

復舊工事申請

平土木監督所は今回の風水害被害の對策工事として既記の如く豫算九萬九千餘圓を獲得したので本月五日より晝夜兼行で郡下の復舊工事六十餘ヶ所の設計書を製作中であつたが本十一日を以つて全部終了直ちに縣を経て内務省に申請し本月未

稲作減收の對策

石城町村長支會が附議

石城町村長支會は明日二日午前十時から平町會議事堂に開會冷害に依る稲作減收の對策並に支會主催の珠算協会の計劃等左記の如き盛り澤山の事項を附議する

シネマ週報

十日より
世界館 新興大作「オールドキー」 松本泰助 森
静子主演「嬰兒殺し」 松竹
右太衛プロ特作 右太衛
門主演「中仙道を行く」 退
屈男「松竹蒲田作品」
ルサウソド 竹内良一
坪内美子主演「妹の告
白」 竹ニユース部特作
オールスターキー「大

海軍

平館 東日主催映畫コンクール一等賞映畫 小杉勇 川畑文子 黒田記代主催 オールスターキー「うら街の交響樂」日活超大作 尾上菊太郎 市川百々之助主演「東海道道中双六」大都會キネマ大作 琴糸路 尾上榮二郎主演「密使紫頭巾」料命二十錢

平町人事

回出生

△田町 鷲廣次氏長男佳弘
△田町 當時植田町本町五
一大塚新松氏三女松子
△胡摩澤二三 大河原旭氏
長男滿
△道匠小路 當時埼玉縣川
越市川越宮田由男氏四男
政男

回婚

△川前村字柳立一五六 永
山幸一氏(二五)材木町鈴
水キヨさん(二五)
△二丁目 當時茨城縣猿島
郡古河町字古河相原日公
大氏(二六)山形縣最上郡
新庄町十日町高橋富美子
さん(二三)

回死

△三重縣安濃郡草生村荒木
榛一氏(二八)研町淺井千
代子さん(二九)
△彌宣町石川博氏(三六)相
馬郡駒ヶ嶺村字町中村テ
ル子さん(二九)

部落の

対立を一掃

情婦も登場して

區長怪死事件大團圓か

既報一三坂村白石區長の怪死事件は昨報の如く部落民の對立的抗争に端を發して居る事が明白となり平署の捜査本部は有力な被疑者を内偵し更に被疑者と白石區長間に情婦を挟んだ痴情關係の纏綿した事實も有力な確證が擧る等捜査本部は勇躍し犯人檢擧の上は是の際を機として部落間の對立的氣分を一掃すべく抗争の根源を徹底的に探究して居り今朝迄にはさしもの怪死事件も大團圓を告げるものと見られて居る

吟(數番△上舞(鞍馬天狗)柴田秀厚(女郎花)神谷辰雄(鐵輪)山崎忠兵衛(昭君)長瀬量(殺生石)佐藤芳松(敬盛)伊藤千六△素謠(紅葉狩)鬼界島)伊藤千六 佐藤芳松

警女講堂

設計完成

警城高女講堂は過日來縣の榮繕課近藤技師が設計中であつたが九日左記設計が完成した

(松虫)志賀長子(花籠)藤沼節子(玉葛)柴田離苦子(大江山)百澤英子(枕慈童)蛭田悦子(笠之段)長瀬昌子(三輪)草野敏子(天鼓)關内義子(岩船)藤沼里子△連吟(月宮殿)小女組(小督)玉木兼次郎(鳥追船)山崎菊子(籠太鼓)佐々木富子(獨吟連

鐵道沿線の看板

風景を害するものは

平驛がどしどし撤去

平驛は鐵道沿線の廣告看板に對し東鐵局よりの通牒により嚴重取締る事になつた即ち該立看板は廣潤なる視野を極限し風景を害する爲め看板に對する關係當局の積極的取締並に取除き方を要求することになりこの程附近の立看板調査に着手した

工兵將校

現地戰術演習

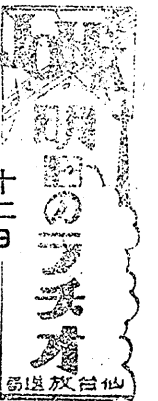
來月一日、二日兩日四倉町

附近で行はれる演習在任の工兵科在郷將校の現地戰術演習は福島商業學校教官岩淵少佐統監の許に舉行と決定した

唱歌コンクール

湯本尋五州名出演

湯本小學校は來る十一月九日より十五日まで全國的に舉行される日本教育音楽協會主催の音楽週中全國小學校兒童唱歌コンクール「尋五年男女各十五名」に参加するが急々申込締切り切



十二日

今晚は北東の風 明日は南東の風 雨模様

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 少年講談「渡邊華山」竹下春鷹
後六、二五 基礎英語講座 (二五) 岡倉由三郎
後七、三〇 講演「東洋工業會議に就て」井上匡四郎
後八、〇〇 漫才「就職戦線異状あり」ラッキー、セブン
追の昨今同校は校長始め各教員全力を盡してその指導に當つてゐるが同校は去月廿五日仙臺中央放送局より放送してその優秀を見とめられて居り縣下優勝候補の隨一と目されてゐる

錦村の人口が倍加

人絹工場の出現で膨張

錦村は人絹工場出現以來急速な膨張發展を來しつつあるが昭和五年の國勢調査當時の人口三千三百四十五人に過ぎぬ一寒村が今回の國勢調査では一躍六千二百四十一名に倍加したと

勿來校上棟式

郡勿來尋常小學校は勿來驛東側に新築中であるが來る十七日午前十時より上棟式を舉行する

平裁判たより

△泉村大字瀧尻字根上八五農具商上遠野橋佐(五)は去る八月廿三日より同月末日まで縣議立候補以前に齊藤候補の爲め同村下川字稻子塚一間部竹次外四名宅を戸別訪問し投票を依頼し今日平區より略式罰金四十圓を言渡された
△平町白銀町一〇鶏肉商賭

平職業紹介所報告

△人絹男工 高卒 日給五十錢
△人絹女工 尋卒 日給三十錢
△官署人夫 五〇才迄 日給七十錢
△農夫 三〇才迄 臨時住込月給十二圓
△漁業雜役 三〇才迄 住込月給十五圓
△女中 尋卒 三〇才迄 住込月給圓十五圓仕着
△回職を求むる方
△旅館女中 三〇才迄 尋卒 給料面談
△絹糸男工 廿一才 尋卒 同十九才 高卒
△ベル會社職工 十七才 高三卒
△雜役 廿六才 尋四修
△硝商店員 廿二才高卒

稲の盗難

夏井消防協議

夏井消防組は本十一日午前八時から役場内で幹部會を開き稲の盜難豫防其他を協議する

虎造一行の

浪曲の夕べ

の名人として人氣絶大なる廣澤虎造師一行は來る廿一日午後五時より平町聚樂館に於て絶對掛持ち無しの浪曲の夕べを催すが虎造の長講二席の熱演ある由にて前人氣頗る好く盛況を豫想されてゐるが當夜の出演者は左の通り
廣澤虎松 同虎太郎 同右虎造 小虎造 木村重

平窪賭博檢舉

平窪

村大字上平窪字原田二〇林藤太郎方で昨十日午後十時頃同村字横山文一賭博一犯

農鈴木三明(三)同草野輝美(三)双葉那浪江町字全畑雜貨商前科一犯佐々木勇(五)

下小川村字臺四一土工鈴木貞治(五)平町堤ノ内前科一

犯深谷隆次郎(五)外女も交つて四名が花札賭博中を平署員に踏み込まれ前記五名

は現行犯他の四名は賭博參與罪で取調を受けて居る



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島雄史
(監) 野口松太郎

第二百四十八回

自嘲 (七)

「しかも、あなたは助太刀屋を廢業して、砂利かつぎ人夫に落ぶれるし、あの女は病氣……」

「なに？」

「あす死ぬかわからぬ、重い病氣……」

「ほんとうか、芳丸」

「いままで、たつた一度の嘘もいつたことのない、この芳丸ですせ、なんなら見舞つてあげなさい」

「やはり、ホテル館か」

「あなたには、馴染の深いホテル館ですよ。骨と皮ばかりになつて、ホテル館の二階の窓から青空をみてるさうですよ。あなたのことを思ひこがれながら死んでいくのでせうさ。可哀相な女……」

孤獨癖が昂じて、自暴自棄から、政府顛覆の煽動家に轉身しようとしてゐる矢先、ひさし振りで會つた芳丸の芳三郎が、しきりに黄金萬能の實利一編をすゝめる、しかも、さういふ口うらで利をすて、情におぼしよといふ。

骨と皮ばかりになつて、ホテル館の二階の窓からあけても暮れても、青空と星と、雲の行き來をながめてゐるといふ、おとわの面輪を想像すると、いくら金のありがた味を説かれても、もう一向に耳に入らなかつた。

ないだらう。まして、たのみとしてつた助太刀屋が看板を塗りかへたんでは何から何まで、すつかり運命に見放されたかたぢた。人一倍氣の弱いおとわが病氣になるのも無理はあるまい。いつそ、パークスが無情にホテル館からおひ出してくれたらおとわは、無念の齒をくひしばつて死んでしまふだらうが、なまじホテル館の豪華な室に蠟人形のやうにそつと飾つて置いて、置き去りにしたんで、死ぬにもおいそれと死ぬるものではない。

さうだ、ウエルズを

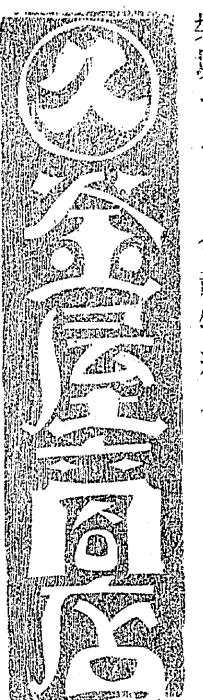


パークスに、すてられたのだな。さうおもつた。パークスを餌にして、ウエルズを釣らうとしたおとわだ。その餌に見すてられてしまつた魚は未來永劫にかゝつて來

憎み、パークスを恨むよりも、誰よりもこのおれを恨むでをることだらう。大志賀は、いさほひさうおもつた。パークスは、ほとんどおとわの室を訪れなくなつたのは、じやめんと

しての商品價値が失はれたからだらう。けれど、おとわにしてみれば、まだパークスが入用なのだ。いや、あるひはもうおとわは、仇討志願をまつたくすてしまつたのかもしれない、だが、それにしても、骨と皮ばかりになつても、敵の片割れパークスの冷たい施與をうけて生きてをるのは、まだ、いくらか希望をすすむにをるのか

に想像された。——いかう、訪ねて行つて、その骨と皮ばかりのおとわの女に、一言力づけてやりたい。それは、なんだか重い責任のやうにおもはれてきた果さねばならぬ當然の義務だと思ふと、そこにどうやら自分の、自暴自棄に陥つてゐることが悔ひられた。——さうだ行かう。だが、何よりも、この工事場の板小屋を脱け出す工夫だつた。晝は烈しい労働の隙をみて到底脱走は出来ぬ。夜は板小屋の外に、つねに數名の邏卒が立番をしてをつて、逃亡はゆるされぬ。



磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

外科

門 專 X
科 線 光

上田外科病院

平町 南町
電話 一二九番

御料理 折詰 仕出し

松茸料理を

始めました

平二警察署通り

魚清食堂

電話六三三

平岡鮎
電話 624

かまぼこ 製造

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

平町一丁目
不保實 電話 一四一番